

2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月6日

上場会社名 株式会社ヨンドシーホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 8008 URL https://yondoshi.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長・CEO (氏名) 木村 祭氏
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務担当 (氏名) 西村 政彦 (TEL) 03-5719-3429
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	28,323	△13.6	1,874	△38.0	2,210	△32.8	1,188	△40.8
2020年2月期第3四半期	32,776	△1.4	3,025	0.8	3,289	△13.6	2,009	146.7

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 2,180百万円 (11.3%) 2020年2月期第3四半期 1,958百万円 (179.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	54.80	—
2020年2月期第3四半期	90.49	90.49

(参考) のれん償却前営業利益 2021年2月期第3四半期 2,246百万円 2020年2月期第3四半期 3,397百万円
 当社は、のれん償却前営業利益を重要な経営指標としております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	55,408	39,774	71.7	1,843.07
2020年2月期	53,737	39,588	73.5	1,822.10

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 39,748百万円 2020年2月期 39,514百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年2月期	—	40.50	—		
2021年2月期（予想）				40.50	81.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,000	△13.3	2,900	△27.1	3,300	△23.5	2,000	△19.2	92.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(参考) のれん償却前1株当たり当期純利益は、通期115円08銭予想となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：有
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	24,331,356株	2020年2月期	24,331,356株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	2,764,848株	2020年2月期	2,645,286株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	21,694,081株	2020年2月期3Q	22,202,155株

(注)自己株式数については、当四半期連結会計期間末に役員向け株式給付信託が所有する当社株式67,136株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2020年3月1日～2020年11月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が制限されるなか、企業業績の悪化や個人消費の落ち込みにより、極めて厳しい状況で推移いたしました。

流通業界におきましても、外出の自粛要請や、店舗の休業・時間短縮営業の影響を受けたことに加え、緊急事態宣言解除後も雇用・所得環境の悪化からくる消費者マインドの更なる冷え込みが懸念されるなか、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のなか、当社グループは、第5次中期経営計画最終年度となる2020年度におきまして、引き続き「100年企業」「100年ブランド」の実現に向けて「人材の育成」、「商品力の強化」、「マーケット動向の把握」に取り組んでおります。そして、信頼性の高い企業グループの構築に向けCSR経営を実践し、内部統制機能の強化、株主への利益還元、利益成長に繋がる中長期的投資等を実行することによって企業価値の向上に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高283億23百万円(前年同期比13.6%減)、営業利益18億74百万円(前年同期比38.0%減)、経常利益22億10百万円(前年同期比32.8%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益11億88百万円(前年同期比40.8%減)となりました。また、重要な経営指標として定めているのれん償却前営業利益は22億46百万円(前年同期比33.9%減)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(ジュエリー事業)

ジュエリー事業を展開するエフ・ディ・シー・プロダクツグループにおきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、3月下旬から5月末にかけて大規模な休業、時間短縮営業を実施しました。緊急事態宣言解除後も外出自粛の傾向は続きましたが、通常営業へと移行するなか、店舗売上高は回復傾向となりました。

その結果、売上高は138億24百万円(前年同期比26.6%減)、営業利益は12億24百万円(前年同期比49.2%減)となりました。

(アパレル事業)

アパレル事業におきましては、アスティグループは、海外生産拠点において、現地スタッフの増員によるサプライチェーンの維持に努めました。また経費削減に尽力したことで営業利益は前年同期を上回りました。デイリーファッション「パレット」を展開する㈱アージュは、地域のお客様の生活を支える社会インフラの役割を果たすなか、生活関連商材の売れ行きが好調に推移いたしました。その結果、既存店が大幅に伸長したことに加え、今期計画通りに出店した店舗も好調に推移し、売上高、営業利益ともに過去最高を更新いたしました。

その結果、売上高は144億99百万円(前年同期比4.1%増)、営業利益は9億29百万円(前年同期比21.3%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における財政状態につきましては、資産は主に、現金及び預金が12億18百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して16億71百万円増加し、554億8百万円となりました。負債は主に、短期借入金が増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して14億84百万円増加し、156億33百万円となりました。純資産は主に、その他有価証券評価差額金が9億73百万円増加したこと等により、前連結会計年度末と比較して1億86百万円増加し、397億74百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月期の通期連結業績予想は2020年7月8日の公表数値から変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であることから、今後の感染拡大や収束の状況等によっては、連結業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	785	2,004
受取手形及び売掛金	2,975	3,270
商品及び製品	8,356	9,125
仕掛品	469	513
原材料及び貯蔵品	1,262	1,002
その他	3,128	1,047
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	16,976	16,960
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,307	5,175
土地	5,492	5,492
その他（純額）	698	597
有形固定資産合計	11,498	11,265
無形固定資産		
のれん	3,227	2,854
その他	214	216
無形固定資産合計	3,441	3,070
投資その他の資産		
投資有価証券	16,507	18,863
退職給付に係る資産	582	610
その他	4,782	4,693
貸倒引当金	△51	△55
投資その他の資産合計	21,820	24,112
固定資産合計	36,760	38,448
資産合計	53,737	55,408

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,902	4,271
短期借入金	—	600
1年内返済予定の長期借入金	82	—
未払法人税等	434	479
賞与引当金	227	317
役員賞与引当金	24	39
資産除去債務	70	12
その他	3,109	3,096
流動負債合計	7,851	8,817
固定負債		
役員株式給付引当金	79	108
退職給付に係る負債	500	503
資産除去債務	1,358	1,413
その他	4,358	4,790
固定負債合計	6,297	6,816
負債合計	14,149	15,633
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,486	2,486
資本剰余金	7,223	7,208
利益剰余金	32,108	31,544
自己株式	△5,751	△5,930
株主資本合計	36,066	35,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,594	4,568
繰延ヘッジ損益	2	△6
土地再評価差額金	△161	△161
為替換算調整勘定	56	79
退職給付に係る調整累計額	△43	△38
その他の包括利益累計額合計	3,447	4,439
新株予約権	74	26
純資産合計	39,588	39,774
負債純資産合計	53,737	55,408

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 3月 1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 3月 1日 至 2020年11月30日)
売上高	32,776	28,323
売上原価	14,114	13,097
売上総利益	18,661	15,226
販売費及び一般管理費	15,636	13,351
営業利益	3,025	1,874
営業外収益		
受取利息	35	101
受取配当金	144	140
投資不動産賃貸料	54	54
為替差益	0	—
その他	51	65
営業外収益合計	286	362
営業外費用		
支払利息	1	2
投資不動産減価償却費	3	3
投資不動産管理費用	1	7
為替差損	—	2
自己株式取得費用	9	1
貸倒引当金繰入額	—	2
保険解約損	—	4
その他	6	2
営業外費用合計	21	26
経常利益	3,289	2,210
特別利益		
投資有価証券売却益	99	22
新株予約権戻入益	—	52
雇用調整助成金	—	462
子会社整理損戻入額	—	28
特別利益合計	99	566
特別損失		
減損損失	188	108
店舗閉鎖損失	40	27
休業手当	—	405
子会社整理損	—	6
ブランド整理損	—	121
投資有価証券評価損	144	75
特別損失合計	372	745
税金等調整前四半期純利益	3,016	2,032
法人税等	1,007	843
四半期純利益	2,009	1,188
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,009	1,188

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年 3月 1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年 3月 1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	2,009	1,188
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△57	973
繰延ヘッジ損益	7	△9
為替換算調整勘定	1	22
退職給付に係る調整額	△1	4
その他の包括利益合計	△50	991
四半期包括利益	1,958	2,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,958	2,180

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用につきましては、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(税金費用の計算方法の変更)

従来、当社及び連結子会社の税金費用につきましては、原則的な方法により計算しておりましたが、経営管理機能強化、業務効率化のための組織変更を契機に当社及び連結子会社の四半期決算業務の一層の効率化を図るため、第1四半期連結会計期間より連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法に変更しております。

なお、この変更による影響は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(追加情報)

(役員向け株式報酬制度)

当社は、2018年5月17日開催の第68回定時株主総会に基づき、2018年11月28日より、当社の取締役（監査等委員である取締役を除く。）及び監査等委員である取締役（社外取締役を除く。）、当社の主要グループ子会社の取締役及び監査役（社外監査役を除く。）を対象者（以下「取締役等」という。）とする株式報酬制度（以下「本制度」という。）を導入しております。

1 取引の概要

本制度は、当社が設定した信託（以下「本信託」という。）に対して金銭を拠出し、本信託が当該金銭を原資として当社株式を取得し、本信託を通じて対象会社の取締役等に対して、対象会社が定める役員報酬に係る役員向け株式給付信託株式給付規程に従って、当社株式を給付する株式報酬制度であります。また、取締役等が当社株式の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

2 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付随費用の金額を除く。）により純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末114百万円、45,353株、当第3四半期連結会計期間末144百万円、67,136株であります。

(会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症拡大防止の意識が高まるなか、当第3四半期期末においても外出自粛が続くことが予測され、需要に対する影響も一定程度はあるものと捉えております。

第2四半期末においては、その後当連結会計年度末にかけて徐々に回復するものと仮定しておりましたが、最近の新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、「徐々に状況は改善するものの、当該状況による影響は当連結会計年度以降も一定期間は残る」仮定に変更し固定資産の減損の会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の収束時期は依然として不透明であることから、今後の感染拡大や収束の状況等によっては、連結業績に大きな影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー事業	アパレル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,846	13,929	32,776	—	32,776
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	451	452	△452	—
計	18,847	14,381	33,228	△452	32,776
セグメント利益	2,410	766	3,176	△151	3,025

(注) 1 セグメント利益の調整額△151百万円には、のれん償却額△372百万円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△401百万円、セグメント間取引消去額622百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報
 告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ジュエリー事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減
 損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、162百万円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ジュエリー事業	アパレル事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	13,824	14,499	28,323	—	28,323
セグメント間の内部売上 高又は振替高	0	148	148	△148	—
計	13,824	14,647	28,472	△148	28,323
セグメント利益	1,224	929	2,154	△280	1,874

(注) 1 セグメント利益の調整額△280百万円には、のれん償却額△372百万円、各報告セグメントに配分していない
 全社費用△406百万円、セグメント間取引消去額498百万円が含まれております。なお、全社費用は、主に報
 告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき重要な事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。